

令和3年度（2021年度）事業の今後の実施内容

1) 被害防除

➤ 中だまり防除格子網の試行（新）

既存の防除格子網2m×2m（目合20cm×20cm角目）は、サメ、マンボウ等の大型生物、多数のクラゲ類が引っかかると網が塞がり、金庫網に魚が入りづらくなることがある。そこで、中だまりに設置できる面積の大きい防除格子網12m×13.6m（目合20cm×20cm角目）を作製した。春定置では大型生物の来遊が少なく設置していないが、秋定置で機会があれば試行する。

2) 個体群管理

➤ 定置網による捕獲

襟裳岬地区で漏斗式捕獲網による捕獲を実施する。捕獲目標頭数は24頭。

参考：令和2年度秋期定置網捕獲数37頭（幼獣♂7♀9 亜成獣以上♂13♀8）

令和元年度秋期定置網捕獲数10頭（幼獣♂1♀1 亜成獣以上♂6♀2）

➤ 空気銃捕獲試験

秋定置網の捕獲状況を鑑みて実施を検討する。実施する場合は、観光客から視認されないよう冬期のえりも岬岩礁付近で行う。

参考：令和2年空気銃捕獲数3頭（幼獣♀2 詳細不明1）

令和元年空気銃捕獲数1頭（亜成獣以上♂1）

3) モニタリング

➤ ドローンセンサス

引き続き大潮前後を中心に実施するが、換毛期の8月はできるだけ多くのデータを得られるよう調査する。また、ディスターブ確認も実施する。

➤ 上陸個体数自動カウント手法の検討（新）

今年度業務として、ドローン撮影した画像データからゼニガタアザラシの個体数を自動カウントできるシステムが構築できないか検討している。酪農学園大学と提携して、他種で実績がある手法をゼニガタアザラシに活用することを想定している。

- **サケ被害状況のアンケート調査**
秋定置網事業者に対して、被害状況把握のためのアンケートを実施する。
- **サケ・タコ被害状況把握のための乗船調査**
水中カメラを用いて被害状況を撮影する。
- **行動範囲調査**
秋定置で捕獲した成獣2頭に発信機を装着し、行動範囲の調査を行う。
- **人獣共通感染症、ジステンパーウイルスに関する調査**
捕獲したゼニガタアザラシから採取したサンプルを坪田先生に解析していただく。

項目	実施内容	実施主体	備考
被害防除	防除格子網の設置【春定置、秋定置】	環境省・漁業者	
	中だまり防除格子網の試行 サイズ:12m×13.6m(目間20cm×20cm角目)	環境省・漁業者	
個体群管理	定置網による捕獲【春定置、秋定置】 ソーセージ網の試行	環境省・漁業者	春定置:14頭捕獲
	刺し網による捕獲	環境省・漁業者	6月2日実施:14頭捕獲
	空気銃による捕獲 (12~2月頃)	環境省・NPO法人北の海の動物センター・漁業者	捕獲状況を鑑みて実施を検討
モニタリング	上陸個体数調査【ドローン(UAV)】 (毎月大潮前後を中心に可能な限り実施)	環境省	
	上陸個体数調査【陸上からの目視】	ゼニ研・東農大(小林先生)	
	上陸個体数自動カウント手法の検討	環境省・酪農学園大学(小川先生)	UAV画像データを用いた解析
	捕獲・混獲個体の生態調査 (性別、体長、体重、年齢、胃内容物等)	環境省・NPO法人北の海の動物センター	
	サケ被害状況のアンケート調査(秋)	東農大(小林先生)・漁業者	
	サケ被害状況の乗船調査(春・秋)	環境省	
	サケ被害状況の経年的な比較、データ解析	環境省・NPO法人北の海の動物センター	
	タコ被害状況の乗船調査	環境省・(未定)	調査方法等検討
	行動範囲調査	環境省・NPO法人北の海の動物センター	2頭程度に発信機装着
	人獣共通感染症、ジステンパーウイルスに関する調査	環境省・北大(坪田先生)	
生息状況の数量的評価、管理方式検討	環境省・東京海洋大学(北門先生)		
普及啓発	HPへの掲載(検討会資料等(一部、英訳版含む))等	環境省	
	観察会、観察ツアー	えりも町教育委員会(郷土資料館)、観光協会	
	えりも町内 各学校への出前講座	環境省・えりも町教育委員会・学校	依頼があれば実施
その他	ゼニガタアザラシの動物園水族館等への譲渡	環境省・動物園水族館等	依頼があれば実施
	文献・情報収集【被害防除、感染症など】	環境省・各委員	随時

図：令和3年度えりも地域のゼニガタアザラシ管理に関わる取り組み一覧